

「フリージア」

廣瀬清一 事務局

花屋さんには、季節が暦より早く訪れる。

フリージアは芳香があり、切り花としても人気が高い。近づいてみると特徴あるフォルムをしている。花は漏斗状で、外側に大きい花被が3個、内側に小さめの花被が3個ある。



このように魅力的な香りを持ちながら、商業用には花から精油は採られていない。

香りの成分は思いのほかシンプルで、主な成分はリナロール、テルピネオール、リモネンで80%近くを占めおり、他にはサビネン、ミルセン、ヘキセノールなどが含まれている。重い甘い香りは β -イオンによる。ごく平凡なものばかりでできている。

花径の上部で直角に曲がり、アーチ状に伸びたその茎の上に行儀よく横一列に並んで可愛らしい表情を見せる。

この雰囲気を活かして一種活けをするにはかなりの技量が要りそうだ。

フリージアの香りは、軽やかで親しみやすい自然な独特の透明感がある。

少ない本数のフリージアで部屋中に香りが広がる。

黄色のフリージアは、爽やかなグリーンにフルーティな甘いフローラル香りが特徴。

白色は、キンモクセイのように甘い香りにペッパー様のスパイシーの香りが特徴。

甘さと繊細さを併せ持つと表現されることが多く、穏やかでありながら爽やかな香りを求める人にぴったりだ。



Antonia's Flowers

その中で、ニューヨーク州イーストハンプトンの花屋さんのフレグランス「Antonia's Flowers (アントニアズ・フラワーズ)1985年発売」が、純粋な本物のフリージアの香りがすると評判を呼んだ。

香りはフリージアを基調にジャスミン、マグノリア、ユリとフルーティなノートが調和した柔らかいフローラルの香り。しかし、残念ながら2019年に販売を終了した。

アフリカ大陸最南端の南アフリカは、花王国と呼ばれユニークな花の数々がある。

フリージアはアヤメ科フリージア属の球根植物で、南アフリカ地域が原産地である。原種として10種余りが知られている。



Edwards Botanical Register 1816 年
New York Botanical Garden
LuEsther T. Mertz Library

フリージアの学名 *Freesia refracta* は、発見者のデンマークの植物学者 C. F. エクロンが、彼の親友の医師 F. H. T. フレーゼ (Freese) の名前にちなんで付けられたと伝わっている(「refracta」は、「後ろへ曲がる」の意味)。

フリージアがヨーロッパに知られるようになったのは、18世紀以降である。このため、フリージアは神話や聖書には登場しない。

19世紀になりヨーロッパ各地で盛んに品種改良が進められた。

今日のようなさまざまな彩の園芸種が生まれた。

日本には明治にオランダから球根が輸入され、大正に入ってから八丈島で栽培が開始されている。

昭和になり花姿や香りが受け入れられて本格的に栽培されるようになる。現在は茨城県が最大の産地となっている。

フリージアけっこうむずかしい平凡

中村晋

作者の中村晋は、福島で被災している。

「それほど贅沢して生活しているわけでもないのに、平凡に暮らすっていうこと自体がむずかしい。

平凡な生活を守るためには、抵抗しなくては行けない。嘆いていても始まらない。やはり平凡はむずかしい。

...

花屋でごくふつうに見かける花なのに、独特の気高いたたずまいと香りがあり、またほかの花とも調和するこのフリージアが私は好きだ。

平凡を極め抜いたような印象がある。無心の美しさがある」と対談で語られている。

フリージアは、平凡を極めた非凡な花なのだ。そう思うと一層親しみが湧いてくる。

平凡な日々と巡る季節に感謝せねば。

参考文献

- 1) S. Wongchaochant, K. Inamoto 『Analysis of Flower Scent of Freesia Species and Cultivars』 May 2005 Acta Horticulturae 673(673)
DOI:10.17660/ActaHortic.2005.673.82
- 2) 三河の植物観察 Flora of Mikawa (<https://mikawanoyasou.org/data/huri-jia.htm>)
- 3) 『Edwards Botanical Register』 1816 年 (<https://www.biodiversitylibrary.org/bibliography/383>)
- 4) 中村晋 『第一句集 むずかしい平凡』 BONEKO BOOKS 2019 年
- 5) 牧内麻衣 『中村さんの俳句と福島の 11 年』 (<https://maga9.jp/220928-4/>)
- 6) 百花繚乱 『白いフリージア』(<https://flowerillust.com/html/etc/freesia004.html>)